

今週の大阪・関西万博 週報 (3/11~3/17)
～ 開催まで あと 26 日です! ～



©Expo 2025

今週のピックアップ!

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成りについて

- 3/12(水)、大阪・関西万博の名誉総裁である秋篠宮皇嗣殿下と、同妃殿下が 2025 年日本国際博覧会会場御視察のため、大阪府へお成りになりました。
- 会場では、大屋根リングや日本館、大阪ヘルスケアパビリオンを御視察され、各所で、担当者からの御説明を受けられました。
- 秋篠宮皇嗣同妃両殿下におかれましては、4月12日に執り行われる大阪・関西万博の開会式にもご出席なさる予定です。



写真提供:大阪府



出典:博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250221-01/>
<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250314-03/>

1. 海外パビリオン探訪

※ それぞれ個性溢れる魅力的な海外パビリオンについて、経済産業省の担当者が毎週順不同で取り上げて紹介していくコーナーです。

① 英国



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- おもちゃの積み木からインスピレーションを得たパビリオン。素晴らしいものに成長する可能性を秘める積み木のような世界を変えることのできるイノベーションを生み出す力を表現。パビリオン内では、イギリスの都市をインタラクティブな没入型展示で紹介。共に築くことができる未来を考える機会を提供。イングリッシュガーデンに面したレストランが併設される。
- ナショナルデーは 5/22(木)。

② ブラジル



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 外壁を太陽をイメージした金色に塗り、内装にゴミ袋等のリサイクル素材を使用する。5部構成の展示を行い、主要展示では、空気を出し入れして伸縮する人形などを使い「人間、動物、森の共生」を表現。他に、ブラジルの多様性、環境悪化への警告、持続可能な未来へのコミットメントなどを展示。
- ナショナルデーは 6/21(土)。

③ オマーン



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- オマーンの多様な自然と地形の特徴からインスピレーションを得たパビリオン。人々の適応力と自然との調和のとれた共存の証として設計されている。パビリオン中央にあるガラス天井の上は水路になっており、自然光が透過する水の流れから、オマーン人の生き方を感じ取ることができる。
- ナショナルデーは 9/20(土)。

④ ポーランド



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 木材を基調にデザインされたパビリオン。ポーランドの創造性と革新性の波の広がりを表現。パビリオン内では、自然、伝統、科学技術など複数の分野の専門家がそれぞれの区画で展示を行い、ポーランド人が受け継いできた創造の遺伝子を紹介。併設されるコンサートルームでは定期的にピアノのリサイクルが開催され、ポーランド出身の作曲家・ショパンのピアノ曲も披露される。
- ナショナルデーは 10/1(水)。

2. イベント情報(開催日時:6/8~6/14)

開幕第7週(6/8(日)~14(土))に会場内で予定される主なイベントを紹介します。

□ Daiwa House presents「いのち輝く吹奏楽」

- 開催日:6/8
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」、ポップアップステージ北・東内・東外
- 関西一円の吹奏楽名門校や地域に根付いた様々な学校・団体の未来ある子供たちが、万博のテーマである『いのち輝く未来社会のデザイン』を多様性のある演奏・技で表現。大阪を代表する大阪交響楽団も出演。

□ BLUE OCEAN DOME パビリオンデー BLUE OCEAN Fes.

- 開催日:6/8
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- 海に纏わる多様多様なブース出展やステージコンテンツを実施。だれもが楽しめる形で、海によってもたらされる豊かな恵みや、海が抱えている課題に気付いていただけるような祭典を予定。



©ZERI JAPAN

□ NARAtive @EXPO ホール

- 開催日:6/12
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 河瀬直美プロデューサーが万博以前から継続展開する、映画を軸とした、今と未来、奈良と世界をつなぐ国際的な対話プロジェクト「NARAtive」を万博特別版として実施。



©LESLIE KEE

□ 大阪・関西万博 シグネチャーパビリオン「いのちの未来」建築カンファレンス supported by 長谷エコーポレーション

- 開催日:6/14
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 建築をテーマに、長谷エコーポレーションと共に実施するイベント。



□ RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～

- 開催日:6/8-15
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 「つなぐ」といったコンセプトの下、日本の食・農林水産業の魅力を発信するため、農林水産省・国税庁・文化庁の14以上の部局が展示を実施。



□ 絵師 100 人展 大阪・関西万博篇

- 開催日:6/11-17
- 場所: ギャラリー WEST
- 漫画やアニメ、ゲーム、ライトノベルの挿絵などポップカルチャーの第一線で活躍するイラストレーターらの「伝統的な日本を感じられるテーマ」による描き下ろし作品を展示。「絵師 100 人展」の歴史などもご紹介。



□ 産経国際書展 大阪・関西万博展

- 開催日:6/14-19
- 場所: ギャラリー EAST
- 1984年に設立された書道団体、産経国際書会に所属する書道家約150人による書道の展覧会。書芸術の国際交流、友好親善、世界平和を理念に、大阪・関西万博にちなんだ言葉や文字を書いた作品を展示。



□ [岐阜県の日] 「清流の国ぎふ」絵巻 ～輝く「いのち」の処方箋！～

- 開催日:6/9-10
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 地芝居をはじめとする「清流の国ぎふ」で育まれてきた民俗芸能や、岐阜の未来を担う若者によるパフォーマンスなどを余すことなく披露。



□ 大地と雪の恩恵 ～未来へつなげる新潟の食と伝統～

- 開催日:6/10-13
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 新潟県の観光資源の一つである、日本海と雄大な山に育まれた豊かな「食と暮らし」をテーマとした様々なコンテンツを世界に発信。



□ ふくの国、山口

- 開催日:6/10-13
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 誰もが幸福(ふく)を感じられる山口の魅力(食、観光、文化、交流など)を展示ブースやステージイベントを通じて体感していただくイベント。

□ 東北四季の彩り&東北絆まつり

- 開催日:6/14-15
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- 東北を代表する6つの夏祭り(青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつり)がパレードやショーを実施、東北6県のブースも設置。各ブース設置期間は調整中。



東北絆まつり実行委員会

□ イランカラプテ ～アイヌ文化をウポポイから～

- 開催日:6/10-12
- 場所: ギャラリー EAST
- ウポポイの紹介とともにアイヌ工芸品の展示を通して、アイヌの伝統文化の継承活動について知っていただくことはもとより、アイヌ文化の芸術性や我が国の文化の多様性について理解いただけるイベント。



3. 関連する主な活動／発表

- 3/17（月）、博覧会協会は、定例理事会を開催。閉幕後の施設・設備等のリユース、チケットの販売状況等について議論。

出典：博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250317-01/>



- 2/19(水)～3/13(木)、海外での機運醸成のため、各在外公館は、天皇誕生日祝賀レセプション等において大阪・関西万博 PRを実施。(内閣官房・外務省連携事業)
(3/4(火)配布分の週報からの続報)



提供：在韓国日本国大使館
(天皇誕生日祝賀レセプション
開催日：2月19日。以下同)
JETRO ソウル事務所による提



提供：在イタリア日本国大使館
(2月20日)



提供：在オランダ日本国大使館
(2月20日)



提供：在インドネシア日本国大使館
(2月20日)

右、シンガーソングライター
兼エンターテイナー かとう ひろあき氏



提供：在アイスランド日本国大使館
(2月21日)



提供：在ルーマニア日本国大使館
(2月21日)



提供：在重慶日本国総領事館 (2月21日)

中央左から高田真理総領事、
大阪府上海事務所職員



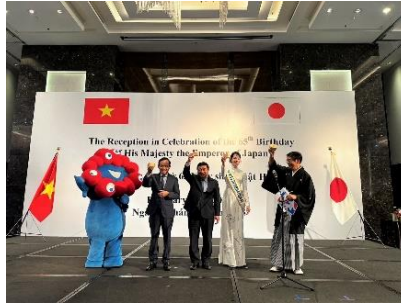
提供：在トルクメニスタン日本国大使館 (2月21日)



提供：在ポーランド日本国大使館
(2月21日)
ベアタ・ダシンスカ＝ムジチュ
カ三海域イニシアティブ



提供：日本台湾交流協会台北事務所
(2月26日)



提供：在ベトナム日本国大使館
(2月26日)
左から、チャン・リユウ・クワン共産党中央政策・戦略委員長、グエン・チー・ズン副首相、フィン・ティ・タイン・トゥイ 2024年ミスインターナショナル、伊藤直樹大使



提供：在シンガポール日本国大使館
(2月27日)
左から デリック・ゴー議員、石川裕子大使夫人、石川浩司駐シンガポール日本大使、ジョセフィン・テオ情報通信大臣兼第二内務大臣、ヨー・ワンリン議員



提供：在英国日本国大使館
(2月27日)



提供：在ベルギー日本国大使館
(2月27日)
ベルギー万博マスコットのベルベルとミャクミャクとともに記念撮影
(左から三上大使と Pieter DE CREM ベルギー万博事務総長)



提供：在バチカン日本国大使館(3月4日)
在バチカン日本国大使公邸におけ



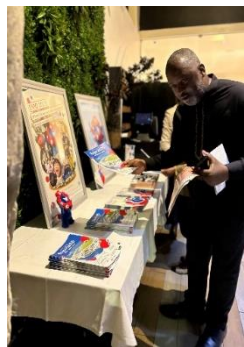
提供：在フランス日本国大使館
(3月5日)



提供：在フィンランド日本国大使館(3月5日)



提供：在アルゼンチン日本国大使館(3月12日)
左から 山内弘志大使、クーオネ・リバロナ司法大臣



提供：在アンゴラ日本国大使館
(3月13日)
アンゴラ有力紙「ノーヴォ・ジオルナウ」編集長

- 3/15(土)～3/16(日)、内閣官房(国際博覧会推進本部事務局)は、「中京テレビで遊べ！4ちゃん博覧会」の併催イベント「トラベルランド」(愛知県名古屋市)にて、こども向け機運醸成イベント(「万博謎解きゲーム ～ミyakumiyakuを探せ！～」)を開催。参加者は謎解きゲームを楽しみながら万博について学習。また、ミyakumiyakuの写真のSNS投稿キャンペーンを実施。15日には中京テレビの番組「2025年度！東海3県 コレがくるぞ！」でイベントの様子を中継。



ミyakumiyakuグリーティングの様子

写真提供:内閣官房 国際博覧会推進本部事務局

- 3/7(金)、エネルギーに関するさまざまな話題を発信している資源エネルギー庁のサイト「エネこれ」において、「未来のエネルギー技術が集結！大阪・関西万博の見どころをチェック」と題し、万博特集を開始。初回は、太陽光・水素編として、“太陽電池が貼り付けられたスタッフユニフォーム”や“日本初の水素燃料電池客船「まほろば」”をピックアップ。今後も万博において未来社会のエネルギーを体験できるコンテンツを定期的に発信予定(3月中に計3本発信予定)。

(参考)

- ・「エネこれ」トップページ <https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/>
- ・初回記事「未来のエネルギー技術が集結！大阪・関西万博の見どころをチェック ～太陽光・水素編」
https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/expo2025_01.html



4. 今週以降の主な予定

□ EXPO スクールキャラバンの当面の実施スケジュール等

日時	学校名（授業実施者）
2025/3/18（火）	福島県立たむら支援学校（三菱総研 DCS）@福島県
2025/3/19（水）	千葉県立市川工業高等学校（鹿島）@千葉県
2025/3/21（金）	立川市立立川第四中学校（青木あすなろ建設）@東京都

* メディア受け入れ可能な学校のみ抜粋

5. 今週の MJ 万博特集及び 60 秒解説

□ 3/11(火) この海外パビリオンがすごい⑥

- ・オーストリア館にはモーツァルト愛用ヴァイオリンがやってくる
- ・シヨパンの調べで会場を満たすポーランド
- ・ハンガリーは民族音楽を中心に

<https://journal.meti.go.jp/p/38151/>



□ 3/12(水) 「循環」のこと、知識よりも体感でやさしく——日本館総合プロデューサー・佐藤オオキさん

- ・館内を一回りすると、大きな循環の中に
- ・「火星の石」も「いのち」とつながる
- ・ドラえもんたちがナビゲート 視線を極力低く
- ・「現場で体験する一期一会の面白さ」

<https://journal.meti.go.jp/p/37921/>



□ 3/13(木) 「ウーマンズ パビリオン」で「意識スイッチ」を ON に。カルティエが万博で世界に伝えたい事とは

- ・「ともに生き、ともに輝く未来へ」—。ドバイ万博に続き出展
- ・女性活躍＝「より良い社会」をどうつくっていくか
- ・ジェンダーギャップ解消に必要なスピード感
- ・ドバイ万博・日本館の資材を再利用。「つかう責任」も体現
- ・多彩なセッションを展開。「感じて、考えて、一步踏み出して」
- ・熱い思い、挑戦…「多くの人にパッションを感じて欲しい」

<https://journal.meti.go.jp/p/37983/>



□ 3/14(金) 有名アーティストも続々出演決定!? 万博は音楽ライブとフェス会場になる

- ・万博会場は大規模な屋外アリーナを完備
- ・Ado の歌声が万博会場に響く開幕日
- ・「Jr.EXILE」4 グループの圧倒的ダンスパフォーマンスを万博会場で
- ・多彩なアーティストが続々出演。フェスがいっぱい!



<https://journal.meti.go.jp/p/38211/>

□ 3/3(月) 日本全国から大集合! 万博会場内は“お祭り”騒ぎ!

- ・日本全国の祭りが万博会場に集結!
- ・一緒に踊って伝統文化を体感。
- ・リアルで集まる意義を、世界に向けて発信していく「お祭り」。

<https://journal.meti.go.jp/p/38251/>



<公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら>

<https://www.expo2025.or.jp/>



<週報のバックナンバー(過去発行分)はこちら>

<https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/shuho.html>



6. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) チケットの販売枚数について

指摘事項

- 前売り券の販売枚数が1000万枚を超える見込みとのことだが、事実関係如何。

【事実関係】

- 博覧会協会によれば、これまでの前売り券の販売実績(12日現在で約821万枚)に、学校の修学旅行や、旅行会社が募集している団体旅行での販売見込みを加えると、前売り券の販売が約1000万枚を超え、愛・地球博の前売りの実績(約939万枚)を上回ることになると承知している。
- チケットの販売促進に向けては、公式 Web サイトの改善等に加え、当日券の導入、簡単来場予約チケットの導入などの取組を進めているところ。また、万博の楽しみ方を特集した雑誌の販売も始まり、万博の魅力や具体的なコンテンツが様々な形で発信されるようになってきており、SNS 等も含め、今後もあらゆる媒体を活用した発信を強化していく。

(参考) 現在のチケット販売状況 (3月12日現在)

○総数	約821万枚
・直接販売	約640万枚
・公式 Web 販売	約86万枚
・旅行代理店等委託販売	約94万枚

○教育旅行や団体旅行予約の一部として、さらに200万枚程度の販売が現時点で見込まれている。これを総計約821万枚に加えれば、約1021万枚相当。

(2) トイレの建設費について

指摘事項

- 仮設トイレに2億円との報道があるが、事実関係如何。

【事実関係】

- 万博会場には、会場全体で約40か所の公衆トイレ施設を計画しており、そのうち8か所については、今後の活躍が期待される若手建築家が設計を担い、デザイン性も考慮して仕様を決定した上で、競争性のある入札手続を経て施工業者を決めている。

- 2億円で契約したと指摘されているトイレ施設については、便器の数 40～60 基(延床面積約 250～290 m²程度)の大規模な施設であり、平米当たりの工事単価は約 62～71 万円程度となっている。

- この単価は、例えば、
 - ・博覧会協会が設置する一般的な公衆トイレの工事単価は、約 62 万円、
 - ・大阪府が 2020 から 2021 年度にかけて整備した公衆トイレの平米あたり工事単価は、約 81 万円及び約 110 万円、
 - ・建設価格を調査する公的団体のデータベースには、2016～2022 年平均で約 74 万円、といった各種トイレの平米あたりの建設費用と比べて、とりたてて高額であるとは言えないと考えている。